



株式会社サニーサイドアップグループ
2025年6月期第1四半期 決算補足説明資料

連結決算ハイライト

- 二桁増収達成、主力のブランドコミュニケーション事業が2割伸長、中期売上成長目標を上回る水準で推移
- 予測可能性の向上へ、これまで業績進捗を基に2Q・4Qに計上してきた賞与関連費用を四半期毎に平準化
1Qに1.1億円計上して営業減益となるも、費用平準化の影響を除くと増益確保
- 通期業績予想に対する利益進捗率は同一条件比較で前年並み、上記影響を織り込んだ会社想定通り進捗

対前年同期
売上高増加率

+ **13.4%**

対前年同期
営業利益増加率

▲ **35.1%** (同一条件比較
+ 4.6%)

営業利益率

前年1Q 8.6% →

4.9% (同一条件比較
7.9%)

ブランドコミュニケーション事業
対前年同期 増収率

+ **20.1%**

ブランドコミュニケーション事業
営業利益率

前年1Q 20.8% →

14.7% (同一条件比較
18.1%)

通期営業利益予想に対する
進捗率

前年1Q 17.8% →

10.9% (同一条件比較
17.6%)

アジェンダ

1. 2025年6月期第1四半期 連結決算レビュー
2. 事業状況
3. 中期成長戦略の進捗
4. Appendix

1.

2025年6月期第1四半期 連結決算レビュー

連結業績サマリー

- 二桁増収達成、前年より提案を進めてきた大手コンビニエンスストア向け販促施策の受注増が寄与
- 賞与関連費用計上の影響を除くと増益確保、営業利益率は原価率の高い販促施策の構成上昇が影響
- 四半期純利益は32%増益、前年1Qに計上した法人税等調整額など、一過性の税負担が減少
- 通期業績予想に対する利益進捗率は同一条件比較で前年並み、概ね会社想定通りに進捗

(単位：百万円)

	2024年6月期 第1四半期 実績	2025年6月期 第1四半期 実績	対前年同期 増減率	(ご参考) 同一条件 概算値*	2025年6月期 通期業績予想 (期初公表)	進捗率	(ご参考) 同一条件 概算進捗率* (前年1Q進捗率)
売上高	3,246	3,679	+13.4%	—	18,500	19.9%	—
営業利益 (営業利益率)	278 (8.6%)	180 (4.9%)	▲35.1% (▲3.7pt)	290 (7.9%)	1,650 (8.9%)	10.9%	17.6% (前年17.8%)
経常利益	286	193	▲32.6%	303	1,660	11.6%	18.3% (前年18.6%)
親会社株主 に帰属する 四半期純利益	96	128	+32.4%	—	960	13.4%	—
1株当たり 四半期純利益	6.50円	8.60円	—	—	64.34円	—	—

(注) *賞与関連費用の平準化の影響を除き、前年同期と同一条件で比較した場合の概算値を示しております。

連結財務諸表

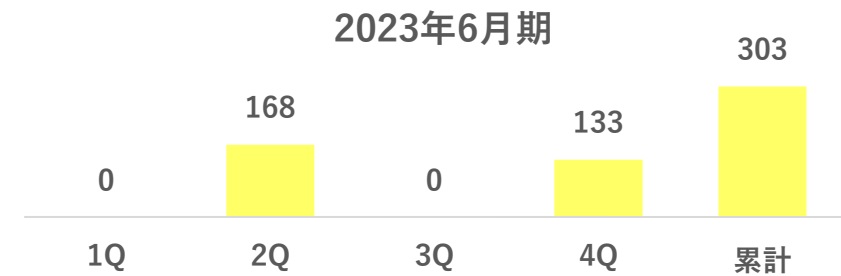
	2023年9月末		2024年6月末		2024年9月末		
	百万円	構成比	百万円	構成比	百万円	構成比	前期末金額差異
流動資産	5,661	76.4%	6,549	77.3%	5,232	73.7%	▲1,316
現金及び預金	2,216	29.9%	3,185	37.6%	2,402	33.8%	▲783
売掛金	1,846	24.9%	2,494	29.4%	1,834	25.8%	▲659
未成業務支出金	919	12.4%	306	3.6%	380	5.4%	73
その他の流動資産	678	9.2%	563	6.6%	615	8.7%	52
固定資産	1,749	23.6%	1,923	22.7%	1,869	26.3%	▲53
資産合計	7,411	100.0%	8,472	100.0%	7,102	100.0%	▲1,370
負債合計	3,872	52.2%	4,336	51.2%	3,054	43.0%	▲1,281
買掛金	1,567	21.1%	1,515	17.9%	1,011	14.2%	▲504
有利子負債	1,069	14.4%	991	11.7%	847	11.9%	▲143
その他の負債	1,235	16.7%	1,829	21.6%	1,195	16.8%	▲633
純資産合計	3,539	47.8%	4,136	48.8%	4,047	57.0%	▲89
資産・負債合計	7,411	100.0%	8,472	100.0%	7,102	100.0%	▲1,370

従業員賞与関連費用の平準化に伴う四半期業績への影響

従業員賞与関連費用 (単位: 百万円)
(販管費における賞与及び引当金繰入額、賞与に係る法定福利費)

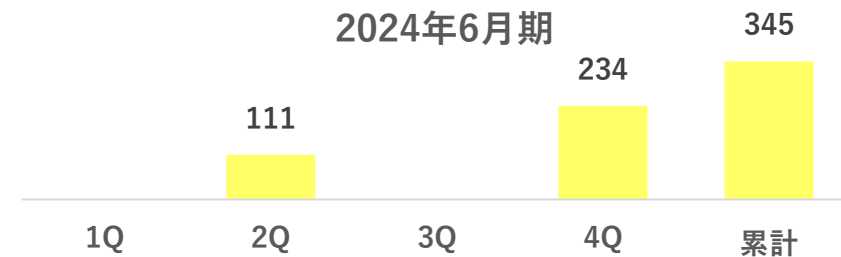
従来

- ・業績目標達成度合いに応じてインセンティブ賞与を支給
- ・業績進捗を基に、2Q・4Qに賞与関連費用計上
- ・期末までに個別通知、支給額確定



前期

- ・業績進捗を基に、2Q・4Qに賞与関連費用計上
 - ・個別通知時期を変更
- ※通知時期変更に伴い損金不算入、法人税等が増加



当期

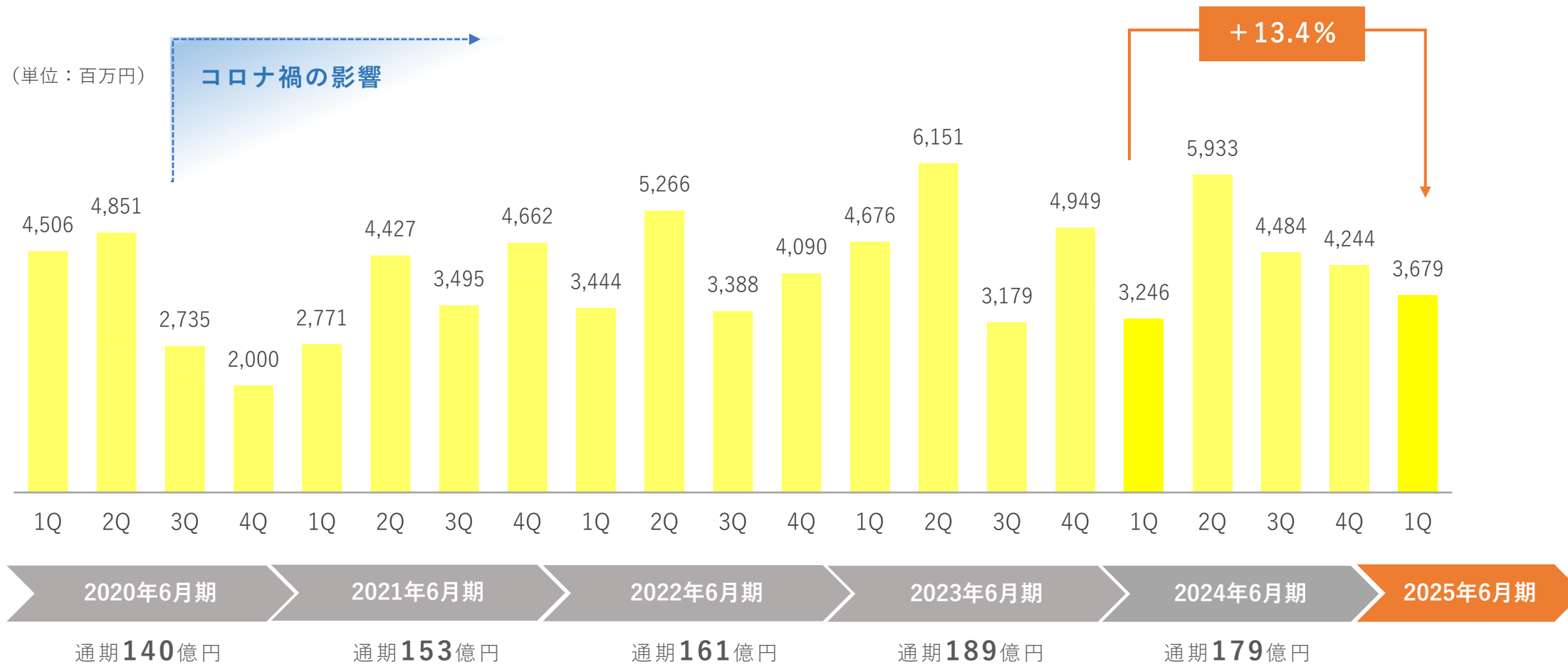
- ・四半期毎の賞与関連費用を平準化
(前年比較では1Q以外に、3Q・4Qで差異発生見込み)
- ・2事業セグメントと調整額(全社費用)に計上

※1Q内訳: ブランドコミュニケーション事業96百万円、フードブランディング事業1百万円、全社費用 12百万円



四半期別売上高推移

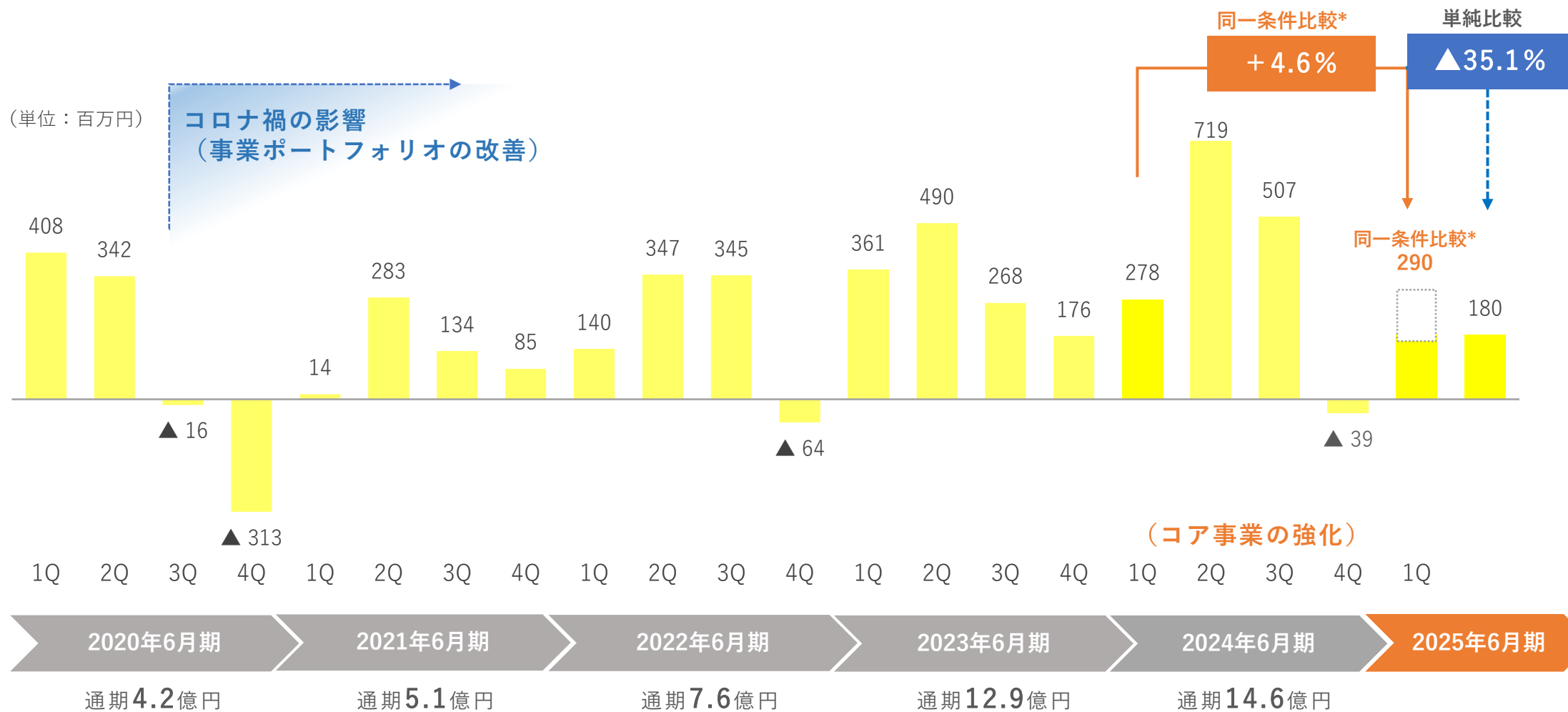
- 13.4%増収、ブランドコミュニケーション事業のうち、販促施策の受注増が寄与



(注) 収益認識会計基準等を2022年6月期の期首より適用しております。

四半期別営業利益推移

- 賞与関連費用の計上により減益となるも、同影響を除くと4.6%増益



(注) *賞与関連費用の平準化の影響を除き、前年同期と同一条件で比較した場合の概算値を示しております。

セグメント別業績

- ブランドコミュニケーション事業：2割増収、減益となるも、賞与関連費用計上の影響を除くと増益確保
- フードブランディング事業：減収減益、客単価は高水準を維持するも、2024年8月の客数減響く
- ビジネスディベロップメント事業：子会社1社の主力事業を転換、コンサルティングの事業化に着手
既存事業の縮小で減収となるも、前年計上のXR費用なく増益確保

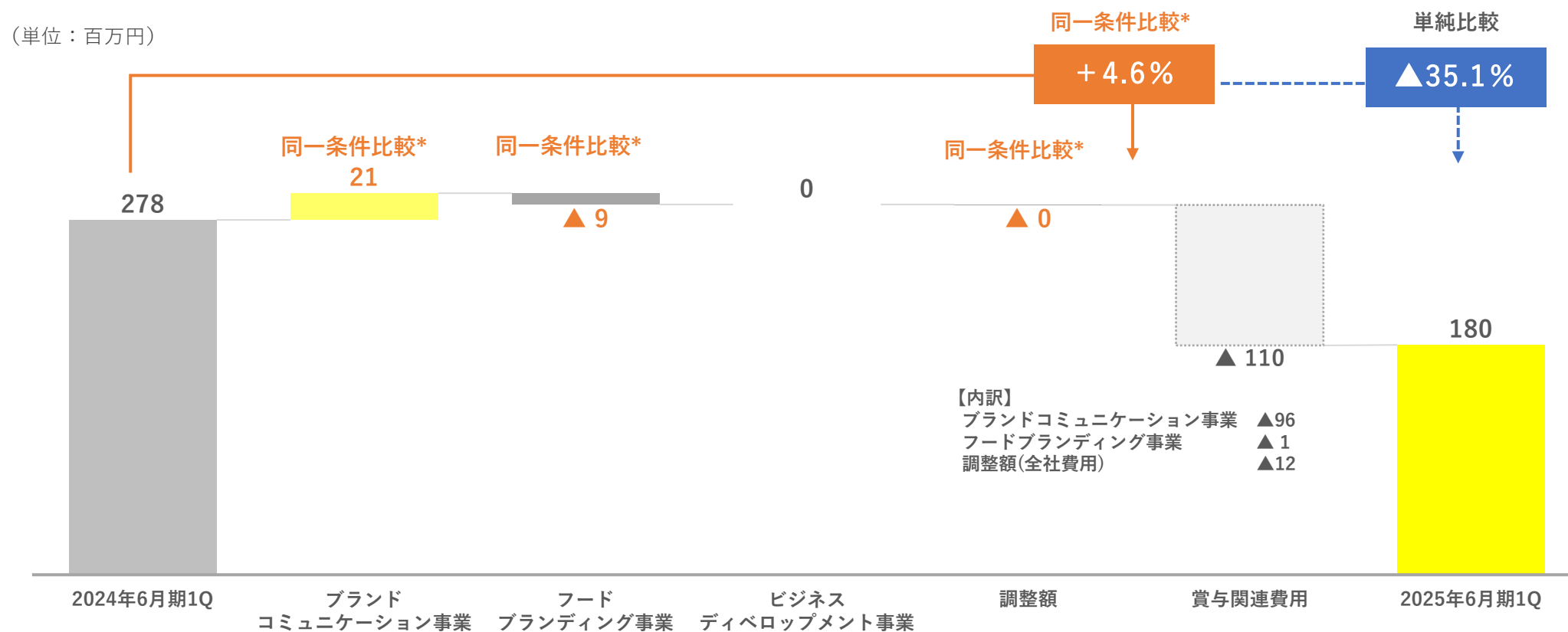
(単位：百万円)

	売上高			セグメント利益 (営業利益率)			
	2024年 6月期 第1四半期	2025年 6月期 第1四半期	対前年 同期 増減率	2024年 6月期 第1四半期	2025年 6月期 第1四半期	対前年 同期 増減率	(ご参考) 同一条件 概算値*
ブランド コミュニケーション事業	2,360	2,835	+20.1%	491 (20.8%)	416 (14.7%)	▲15.3% (▲6.1pt)	513 (18.1%)
フード ブランディング事業	838	825	▲1.6%	49 (5.9%)	38 (4.6%)	▲22.6% (▲1.3pt)	39 (4.8%)
ビジネス ディベロップメント事業	47	19	▲59.4%	3 (7.5%)	4 (23.3%)	+25.5% (+15.7pt)	4 (23.3%)
調整額	—	—	—	▲266	▲278	—	▲266

(注) *賞与関連費用の平準化の影響を除き、前年同期と同一条件で比較した場合の概算値を示しております。

営業利益変動要因

- 賞与関連費用平準化の影響を除くと4.6%増益
ブランドコミュニケーション事業では受注が増加した販促施策の効率改善が寄与



(注) *賞与関連費用の平準化の影響を除き、前年同期と同一条件で比較した場合の概算値を示しております。

2025年6月期 通期業績予想

- 期初公表予想より変更なし、賞与関連費用の平準化は前年比較で3Q・4Qに影響する見込み
- ブランドコミュニケーション事業は概算4.0%増収、営業利益率17.9%を想定
同事業の成長を支える子会社のオフィス拡張移転を2024年12月に計画
- 2024年10月よりコンサルティング事業が始動、中期成長戦略を着実に遂行

(単位：百万円)

	2024年6月期 実績	2025年6月期 業績予想	対前年同期 増減率
売上高	17,908	18,500	+3.3%
営業利益率 (営業利益率)	1,465 (8.2%)	1,650 (8.9%)	+12.6% (+0.7pt)
経常利益	1,501	1,660	+10.6%
親会社株主に帰属する 当期純利益	795	960	+20.7%
1株当たり当期純利益	53.30円	64.34円	—
1株当たり年間配当金 (中間配当金)	20円 (5)	22円 (7)	—

(ご参考) 2025年6月期
営業利益予想
子会社オフィス移転
影響前

1,728

2.

事業状況

事業概要

- 2つの事業とグループの事業領域を拡充する新規事業の計3事業で構成
- コア事業のブランドコミュニケーション事業では、国内外の企業・自治体等を対象にPRを中心とするコミュニケーションサービスを提供
- フードブランディング事業では、オールデイダイニング「bills」のブランディングに携わる

報告セグメント

ブランド
コミュニケーション事業



- PRを中心に、ブランディング、スポーツマーケティング、デジタル・SNS活用等のコミュニケーションサービスを提供
- タレント、キャラクター等のIPを活用した販促施策、商品キャンペーンの企画等を手掛ける
- 2023年9月に(株)サニーサイドアップを存続会社とする子会社3社間の吸収合併が完了
- 2020年3月に(株)ステディスタディを子会社化、(株)サニーサイドアップに次ぐ成長牽引役を担い、採用強化とオフィス拡張移転を計画

フードブランディング
事業



- オールデイダイニング「bills」の国内のブランディング、韓国におけるライセンス管理と店舗運営を担う（直営店舗：国内7、韓国2）

ビジネス
ディベロップメント事業



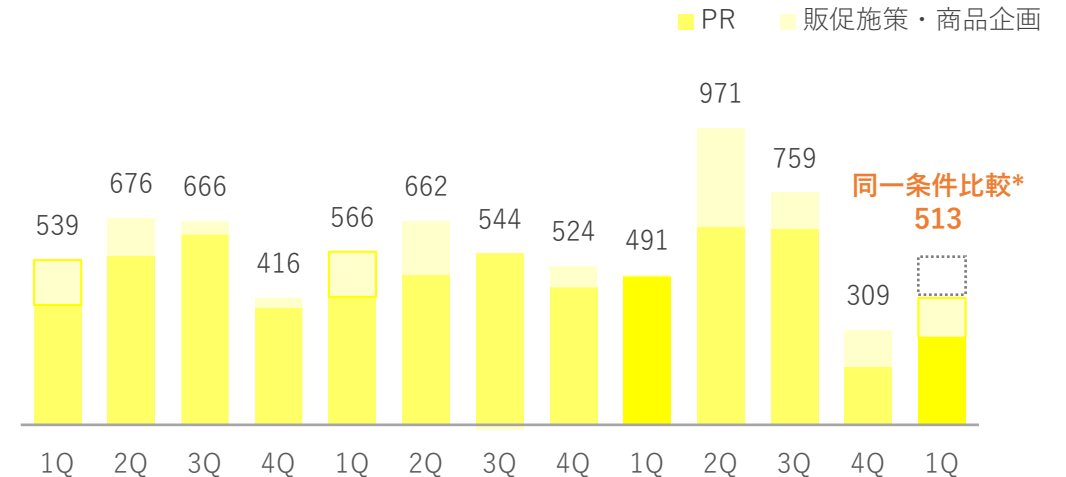
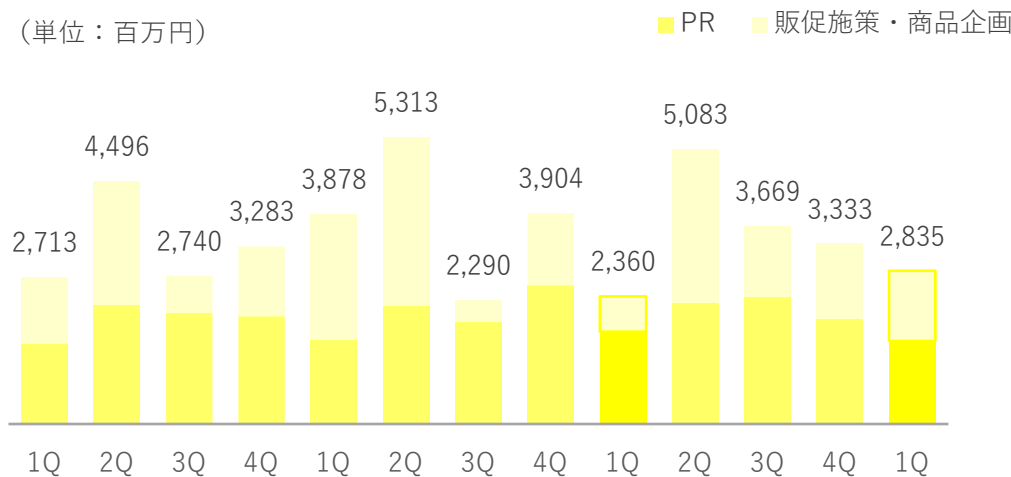
- (株)TKG Consulting（2024年10月1日付で(株)サニーサイドエックスより商号変更）は主力事業を転換、コンサルティングの事業化に着手

ブランドコミュニケーション事業 業績推移

- 2割増収、大手コンビニエンスストア向けの販促施策の受注増が寄与、特に映画キャラクター関連施策が好調
PRではクライアントの維持・開拓を進めるも、海外拠点クライアントからの受注が弱含む
- 販促施策・商品企画は前年より効率化が継続、PRは案件稼働に係る労務費等の費用増加



(単位：百万円)



(注) 旧区分のマーケティング&コミュニケーション事業をPR、セールスアクティベーション事業を販促施策・商品企画として表示しております。
*賞与関連費用の平準化の影響を除き、前年同期と同一条件で比較した場合の概算値を示しております。

ブランドコミュニケーション事業 四半期別売上高

(単位：百万円)

	2022年6月期				2023年6月期				2024年6月期				2025年 6月期
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
売上高（四半期別）													
PR	1,485	2,211	2,052	1,994	1,562	2,198	1,884	2,562	1,707	2,249	2,360	1,945	1,534
販促施策・商品企画	1,227	2,285	687	1,289	2,316	3,114	405	1,341	653	2,834	1,308	1,388	1,301
計	2,713	4,496	2,740	3,283	3,878	5,313	2,290	3,904	2,360	5,083	3,669	3,333	2,835
売上高（累計）													
PR	1,485	3,697	5,750	7,744	1,562	3,760	5,645	8,207	1,707	3,956	6,317	8,263	1,534
販促施策・商品企画	1,227	3,512	4,200	5,489	2,316	5,431	5,836	7,178	653	3,487	4,796	6,184	1,301
計	2,713	7,210	9,950	13,234	3,878	9,191	11,481	15,385	2,360	7,444	11,113	14,447	2,835

(注) 1. 収益認識会計基準等を2022年6月期の期首より適用しております。

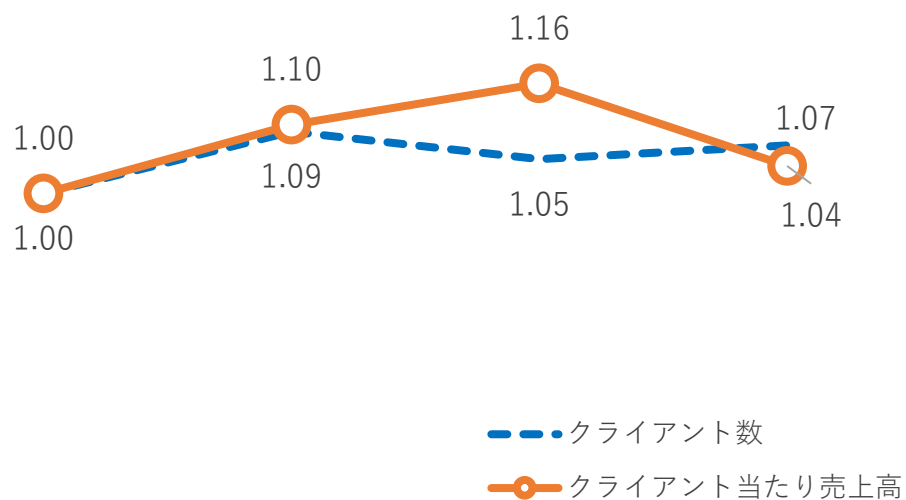
2. 旧区分のマーケティング&コミュニケーション事業をPR、セールスアクティベーション事業を販促施策・商品企画として表示しております。

ブランドコミュニケーション事業 生産性の推移

- 連結子会社3社間の吸収合併完了より1年が経過
統合3社のPRクライアント数は微増、アップセル・クロスセルに繋がる提案を進める
- 新卒採用が順調に進むなか、生産性の改善に向けて人財育成と専門人財の採用に注力
営業職移行者向け教育体系を整備、社内教育プログラム「SUNNY UNIVERSITY」で営業ノウハウ習得支援

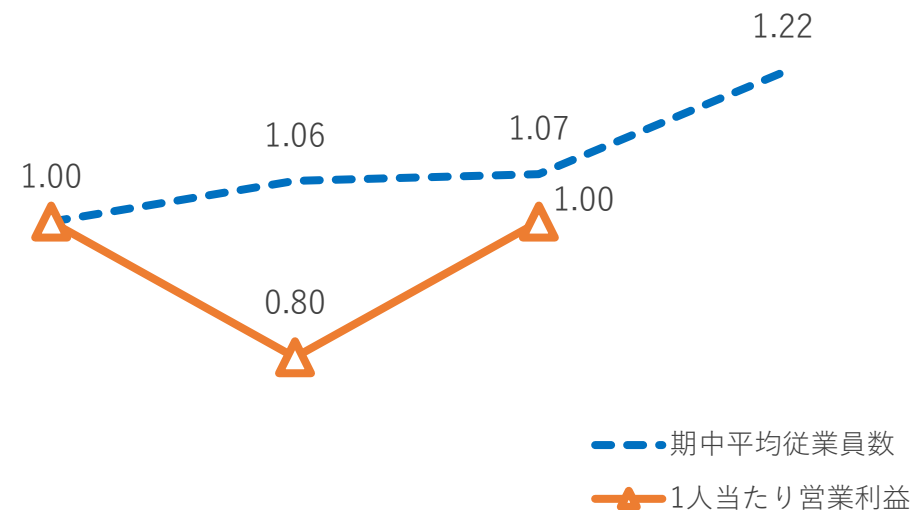
【統合3社】PRクライアント数・平均売上高

(2022年6月期=1として算出)



【統合3社】従業員数・平均営業利益*

(2022年6月期=1として算出)



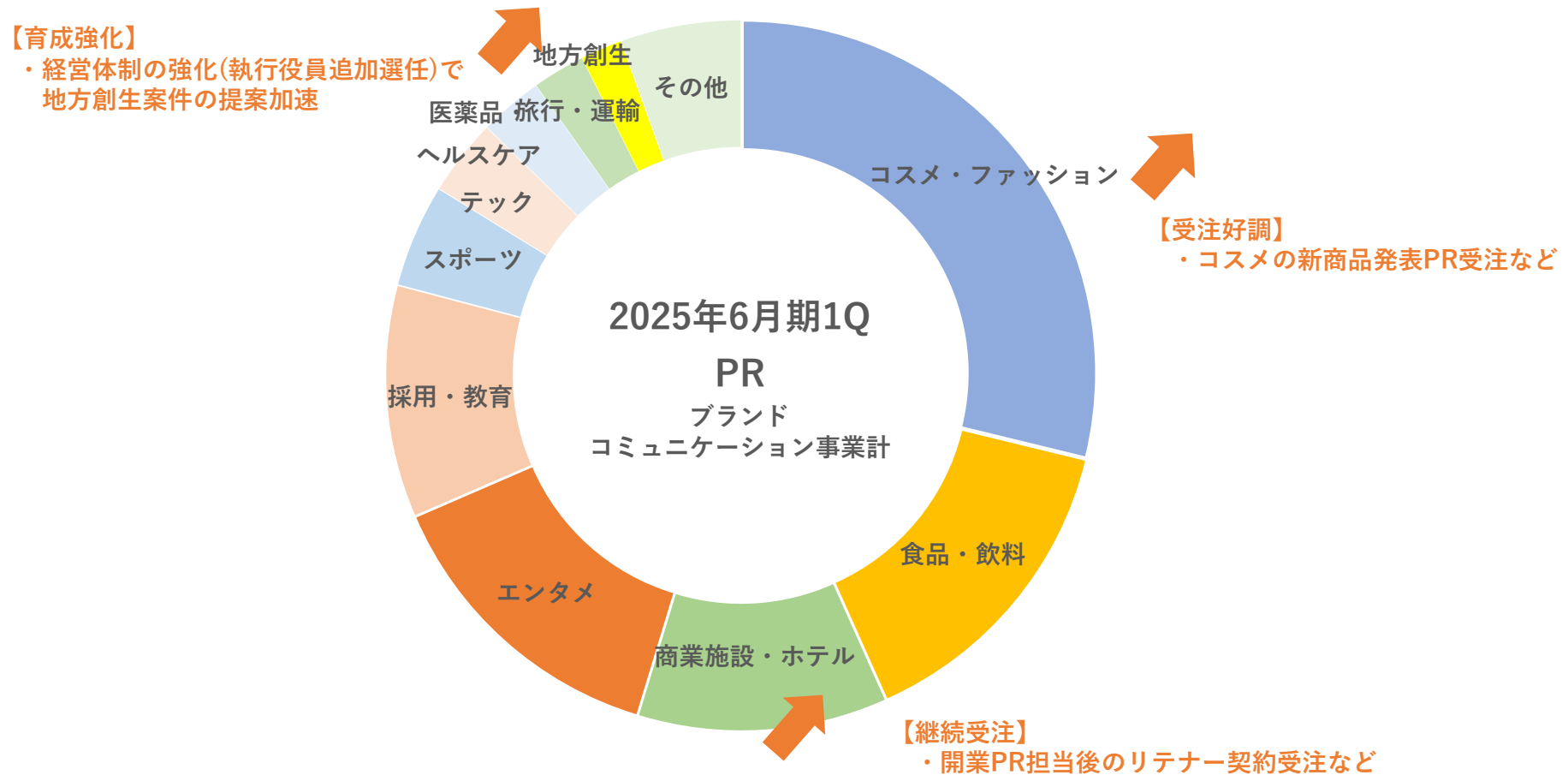
2022年6月期 2023年6月期 2024年6月期 2025年6月期1Q

2022年6月期 2023年6月期 2024年6月期 2025年6月期1Q

(注) *賞与関連費用の平準化の影響により、四半期平均営業利益の記載を省略しております。

ブランドコミュニケーション事業 業種別売上構成

- 多種多様な業種に対応、コスメ・ファッションが好調、商業施設・ホテルは開業PR担当後も継続受注
- キャスティングやアートイベントPRを含むエンタメ、地方創生、旅行・運輸の受注が堅調

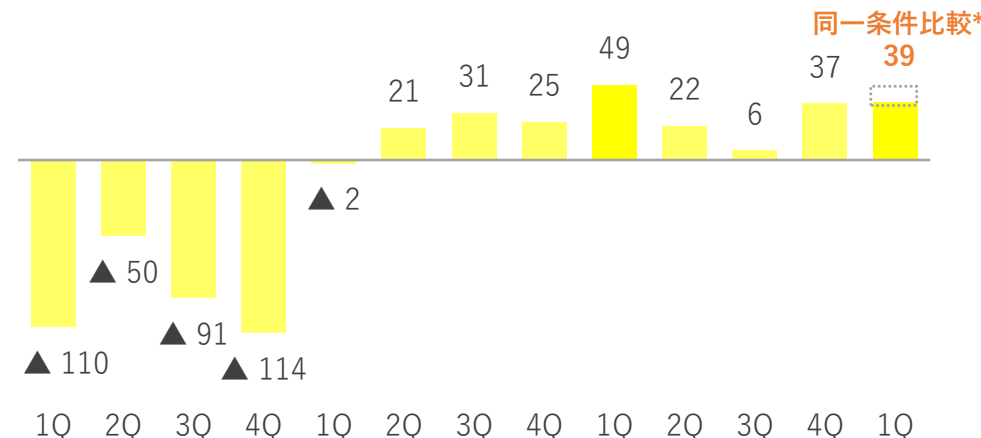
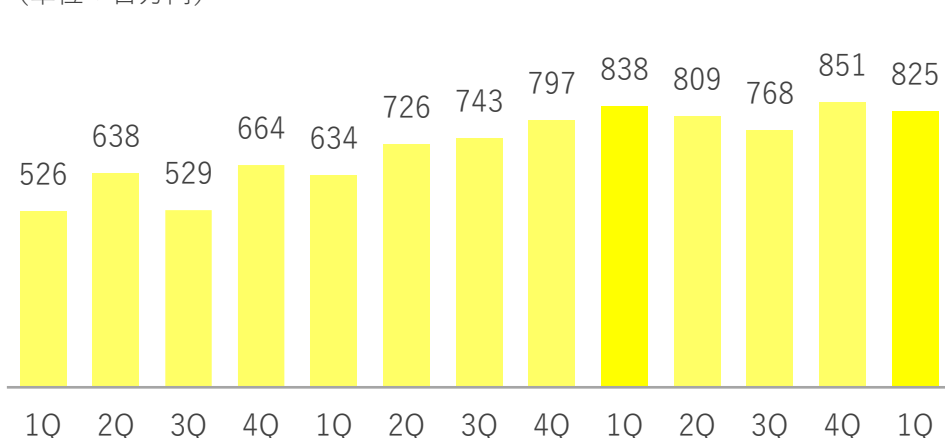


フードブランディング事業 業績推移

- 1Qは通常営業、店舗リニューアルは2023年6月期2Q、2024年6月期2Q・3Qに実施
- 減収減益、インバウンド需要は堅調も、天候不順等により2024年8月に一部で客数減少
- 客単価は高水準を維持、年2回のメニュー改編で新たなテーマを訴求



(単位：百万円)



(注) *賞与関連費用の平準化の影響を除き、前年同期と同一条件で比較した場合の概算値を示しております。

ビジネスディベロップメント事業 業績推移

- 新規事業の開発・創出を通じてグループの事業領域を拡充する位置づけ
- 子会社1社の主力事業を転換、コンサルティングの事業化に着手、2024年10月より始動
- 前年4QにXRスタジオの機能を外部へ移管、既存事業の縮小で減収となるも、前年のXR費用なく増益確保

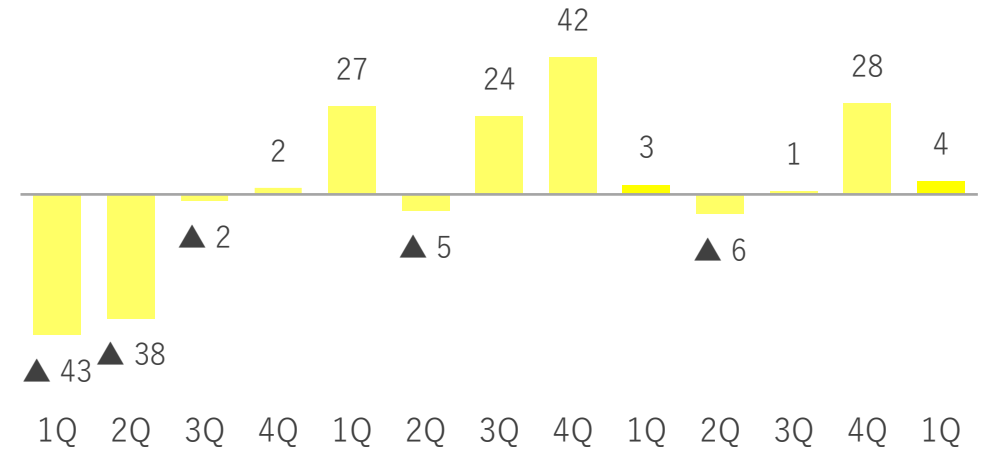
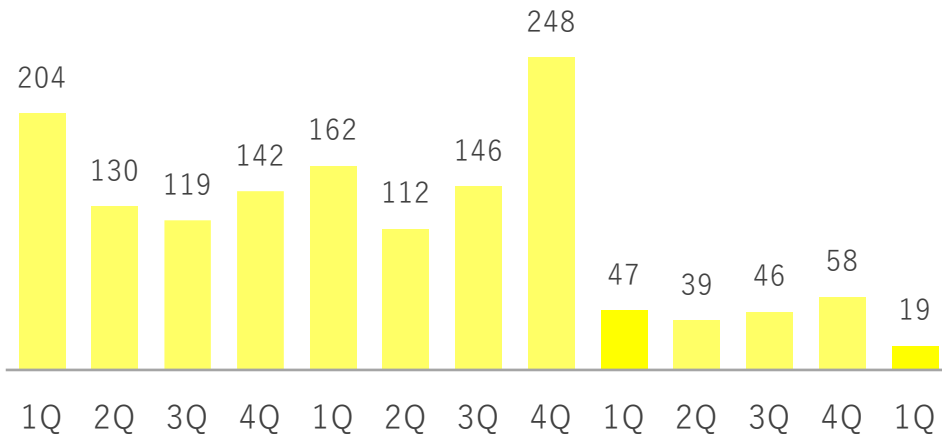
1Q売上高

19百万円

1Q営業利益

4百万円

(単位：百万円)

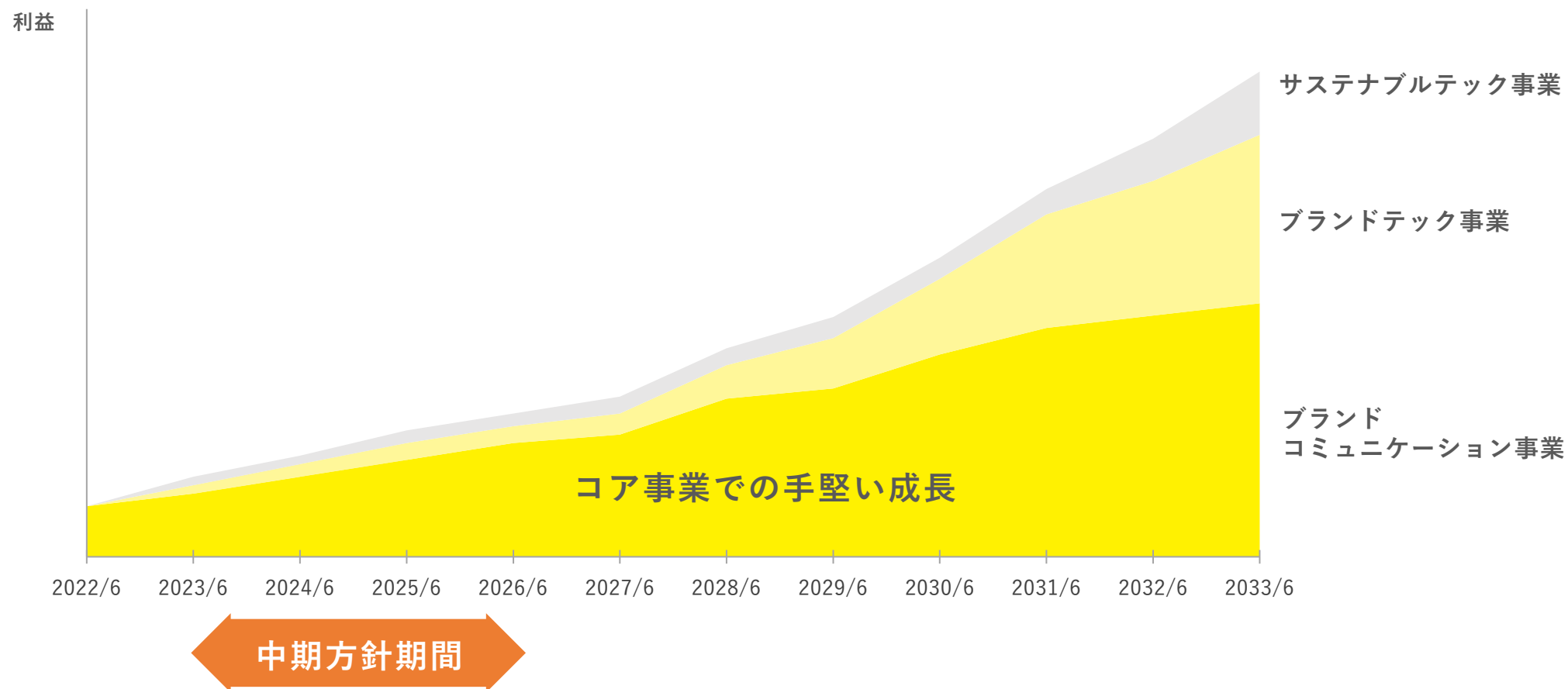


3.

中期成長戦略の進捗

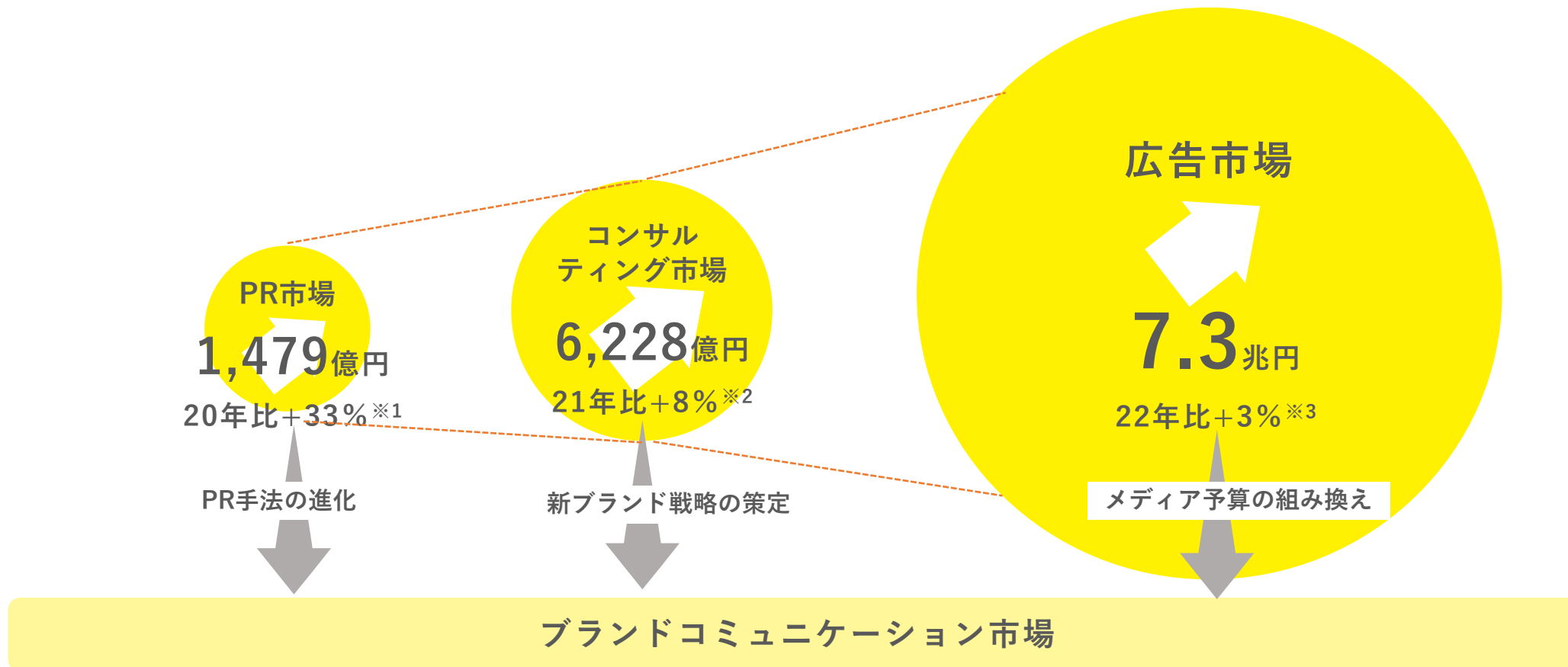
中長期の事業成長イメージ

- 現中期方針期間においては、コア事業（ブランドコミュニケーション事業）での手堅い成長に注力
⇒ブランドコミュニケーション事業による成長に手ごたえ、同事業を中心とした成長を加速



中長期の事業成長イメージ

- PR市場、コンサルティング市場、より規模の大きな広告市場を包含した市場を対象に事業機会を獲得
⇒ **コンサルティングを事業化、コミュニケーションに関する領域を網羅したサービスを一通貫で提供**



(注) ※1 22年の推計値 出典：公益社団法人 日本パブリックリレーションズ協会『2023年 PR事業調査報告書』

※2 22年の推計値 21年の市場規模に対して、21年～26年の推計年間平均成長率を乗算し試算
出典：IDC Japan『国内ビジネスコンサルティング市場予測、2022年～2026年』

※3 23年の推計値 出典：株式会社電通『2023年 日本の広告費』

コンサルティングの事業化

- 中期成長戦略に沿って、2024年10月より(株)TKG Consultingとしてコンサルティング事業を始動
- ブランドコミュニケーション事業と連携、マーケティング戦略支援からPRまでのサービス提供を目指す

コミュニケーション課題解決コンサルティング

理念と戦略を繋ぐコミュニケーション戦略の提供

- ①理念と戦略に基づいた
コミュニケーション戦略の設計支援
- ②トップ層を対象とした
勉強会・ネットワーキング機会の提供

TKG Consultingの強み

- 上流から下流まで一貫した戦略設計と実行
- 幅広いネットワークと業界横断の連携
- ワークショップを通じた協働的な言語化支援

TKG CONSULTING

会社名：株式会社TKG Consulting

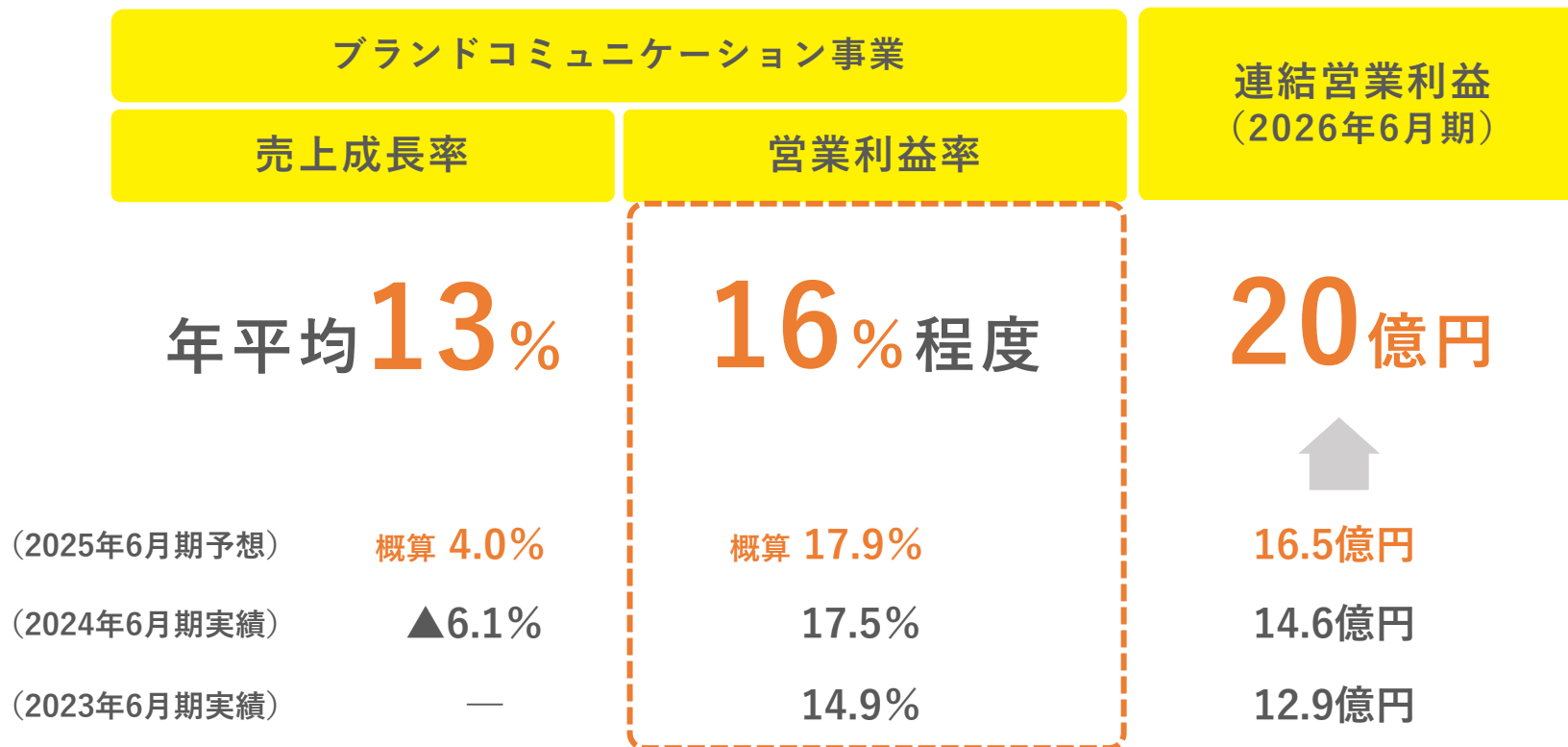
2024年10月1日付で(株)サニーサイドエックスより商号変更

代表者：リュウシーチャウ

(株)サニーサイドアップ代表取締役社長

中期3か年成長ターゲット

- 2026年6月期の連結営業利益目標を20億円に設定
 - ブランドコミュニケーション事業で、売上成長と収益性向上の双方を狙う
 - フードブランディング事業は、安定的に業績を維持・改善する方針
- ⇒ブランドコミュニケーション事業の1Q増収率は中期売上成長目標と当期の想定を上回る





クライアントとの関係性とサービスの方向性

- 中核子会社の(株)サニーサイドアップは、クライアントとの長期的な関係性構築へ
- 提供サービスの高付加価値化を目指し、人員体制の整備と教育拡充を図る



クライアントとの関係性構築

- 2024年2月に続き、大手企業のマーケティング責任者との関係性構築に向けて、イベントを有効活用
- スポーツマーケティングにおける新たな潮流をテーマにセッション、クライアントへの新規提案に繋げる

Number Sports Marketing Summit* (2024年9月)

- ad:tech Influencer Marketing Summit** (2024年2月) に続き、大手企業のマーケティング責任者との関係性構築に向けて、イベントを有効活用
- 2024年2月はイベント終了後、複数クライアントより新規受注、クライアントリレーション型の提案モデルとして位置づける



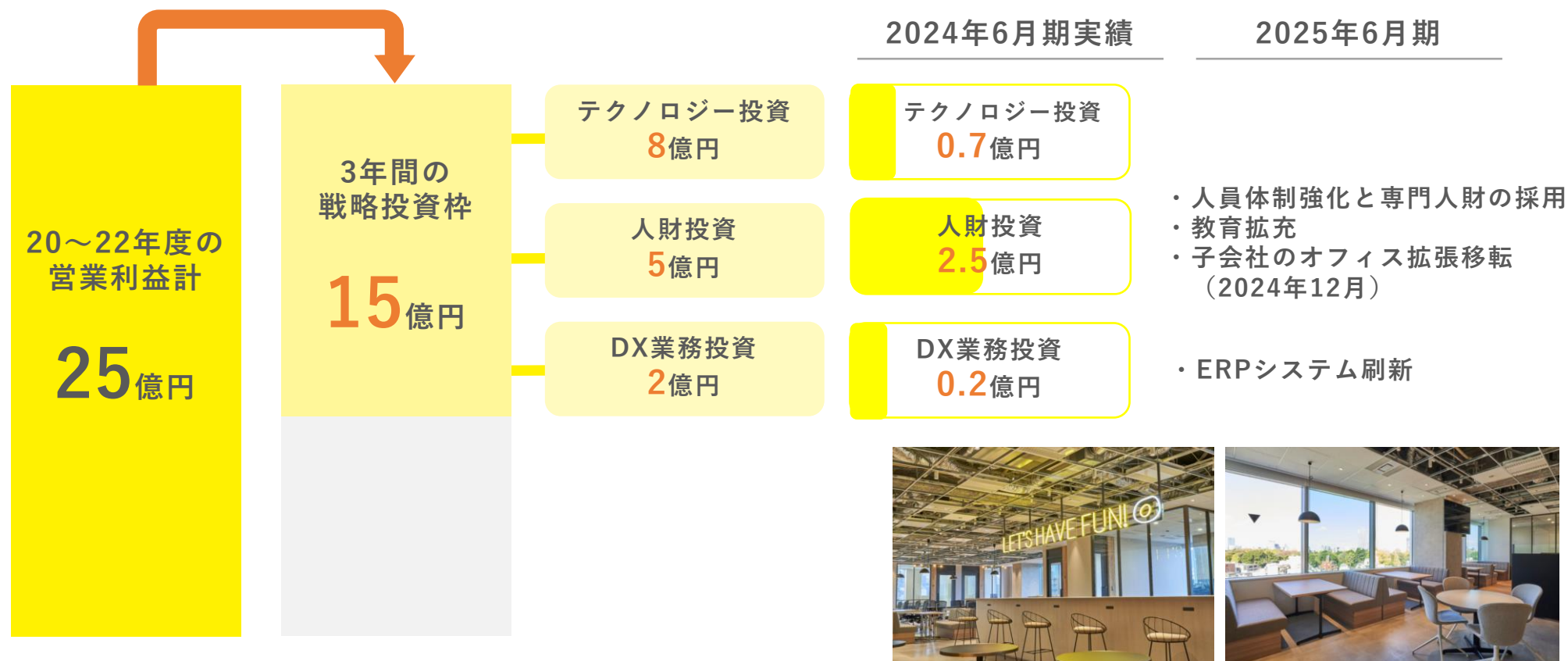
Group株式会社と株式会社サニーサイドアップの共催Group

(注) * 「Sports Graphic Number」 (株式会社文藝春秋発行の総合スポーツ雑誌) 主催イベントへ(株)サニーサイドアップが後援

**AnyMind Group株式会社と(株)サニーサイドアップの共催

成長への戦略投資

- 2023年6月期までの3年間に創出した営業利益の6割に当たる15億円を戦略投資
 ⇒ 2025年6月期は人財投資を加速、前期末(360人)の1割増を予定、子会社オフィス拡張移転を計画



経営体制の強化

- 2024年10月1日付で中田英寿氏が執行役員 エグゼクティブオフィサーに就任
- 当社グループが注力する社会的価値の創造に繋がる事業等を推進、企業成長を加速

執行役員の選任にあたって（2024年9月25日）

当社グループは中田英寿氏と、同氏の現役時代から引退後も現在に至るまで、マネジメント事務所という立場で、長きに渡り信頼関係を構築してまいりました。同氏は、日本サッカー界を世界へ導き、自らもヨーロッパサッカー界への扉を開いた国際人であります。現役引退後、世界そして日本全国を隈なく旅しながら深めた知見と、よりブラッシュアップされた同氏の独特のセンス、これを当社グループが経営に活かさないというのは、企業としても機会損失だと考えます。同氏の持つ、国際的かつ多岐に渡る人脈、その影響力と知見を今こそグループの経営に役立てたいと思います。

人口減少、資源を持たない日本にとって、経済成長の大きなキーワードになる地方創生ですが、日本中を旅してきた同氏と共に日本創生のためのプロジェクトにも積極的にチャレンジしていきたいと考えております。また、日本参入を検討されているグローバル企業様、海外進出を検討されている日本企業様に向けて、同氏が持つ国際的な人脈とそのセンスが活かされると確信しております。

成長拡大への強いパートナーとして中田英寿氏を執行役員／エグゼクティブオフィサーとして迎えた当社グループに、ご期待頂ければと存じます。

代表取締役社長 次原悦子



@SUNNY SIDE UP Inc.

4.

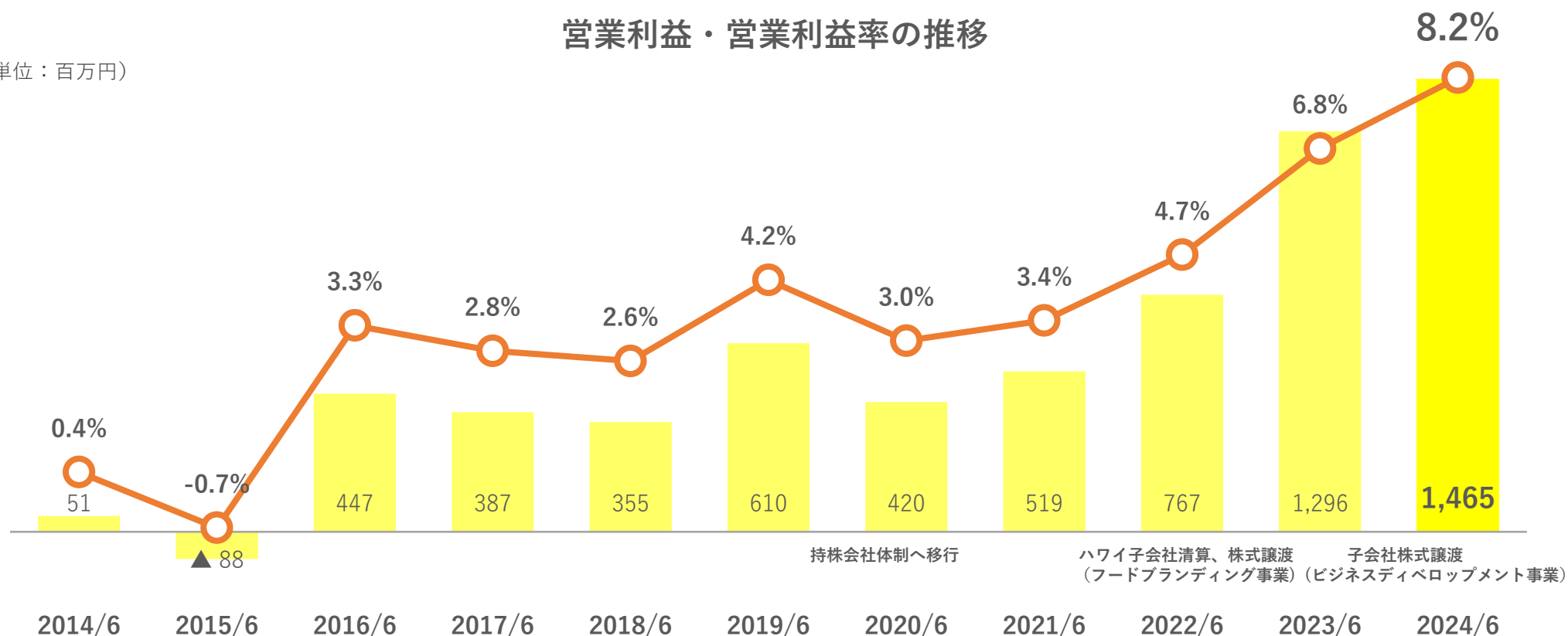
Appendix

業績推移

- 1985年7月創業、当期で40周年を迎える、2020年1月に持株会社体制へ移行
- コロナ禍より事業ポートフォリオの改善を図り、低採算事業からの撤退が完了
- 中長期経営方針に沿って収益力向上への取組み加速、2026年6月期に連結営業利益20億円達成を目指す

営業利益・営業利益率の推移

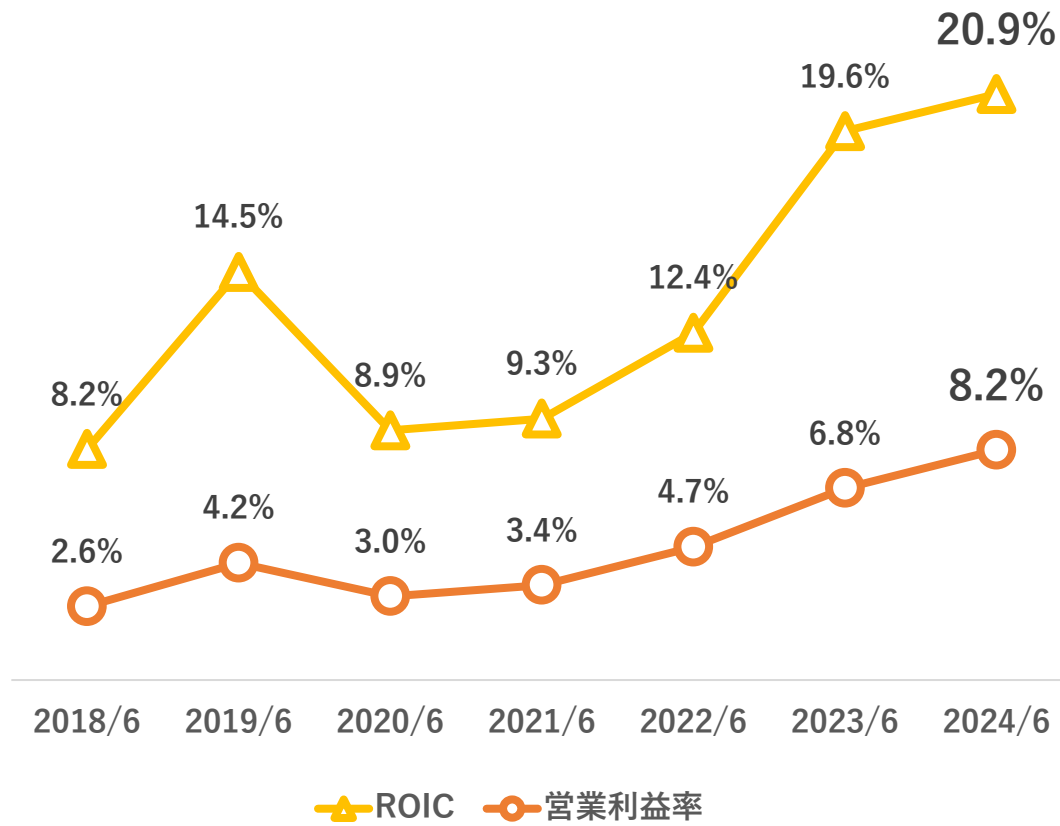
(単位：百万円)



資本収益性の推移

資本コストと株価を意識
した経営の実現に向けて

営業利益率・ROICの推移



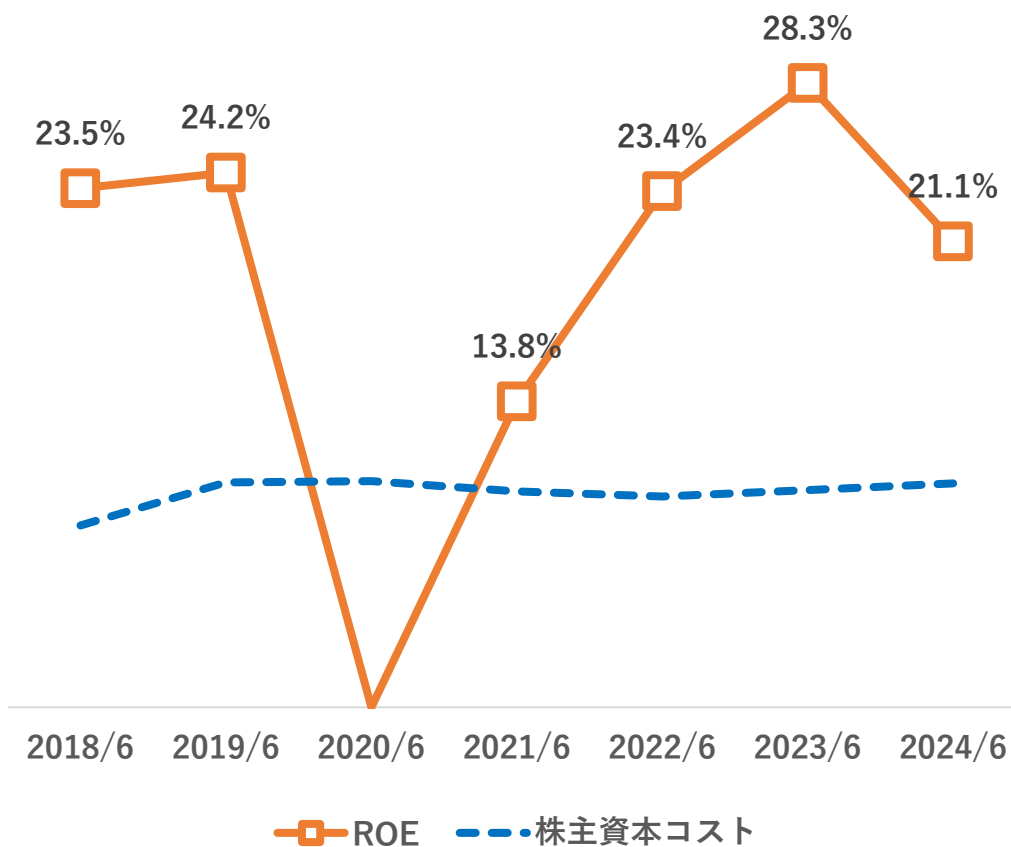
事業ポートフォリオの改善実績

2020年1月	持株会社体制へ移行	
2020年3月	(株)ステディスタディを子会社化	ブランド コミュニケーション事業
2022年6月	SUNNY SIDE UP INTERNATIONAL, INCを清算	フード ブランディング事業
2022年7月	bills waikiki LLCの全出資持分を譲渡	
2023年5月	中長期経営方針「成長に向けた戦略方針」策定（コア事業をブランドコミュニケーション事業として再定義）	
2023年7月	(株)アジャイルの全株式を譲渡	ビジネス ディベロップメント事業
2023年9月	(株)スクランブルを (株)サニーサイドアップに吸収合併 (株)ワイズインテグレーションを (株)サニーサイドアップに吸収合併	ブランド コミュニケーション事業

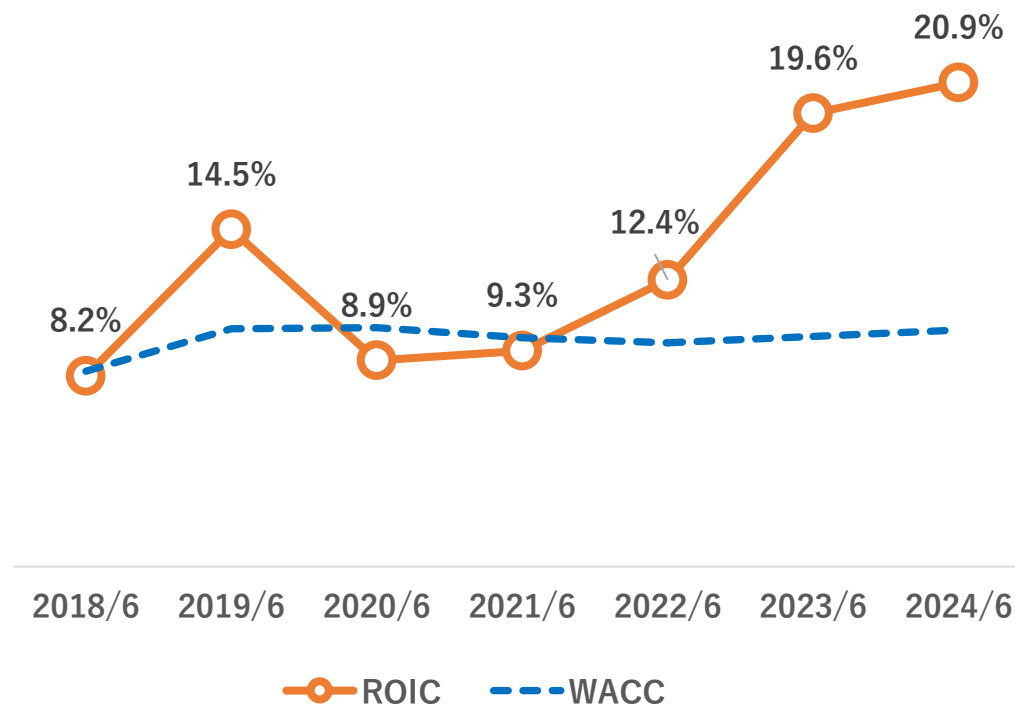
(注) ROICはNOPAT（営業利益×（1 - 法定実効税率））÷（有利子負債+株主資本、期中平均）で算出しております。

資本収益性と資本コストの比較

ROEと株主資本コストの推移



ROICとWACCの推移



(注) ROICはNOPAT (営業利益 × (1 - 法定実効税率)) ÷ (有利子負債 + 株主資本、期中平均) で算出しております。

11年間の連結業績ハイライト

	単位	2014/6	2015/6	2016/6	2017/6	2018/6	2019/6	2020/6	2021/6	2022/6	2023/6	2024/6
業績の状況												
売上高	百万円	12,443	11,940	13,393	13,891	13,537	14,627	14,094	15,356	16,190	18,956	17,908
営業利益	百万円	51	-88	447	387	355	610	420	519	767	1,296	1,465
経常利益	百万円	153	83	236	494	365	718	275	666	1,284	1,335	1,501
親会社株主に帰属する当期純利益	百万円	-7	-330	-216	304	380	493	-210	298	581	884	795
キャッシュ・フローの状況												
営業活動によるキャッシュ・フロー	百万円	-377	37	24	352	757	529	549	339	1,185	846	655
投資活動によるキャッシュ・フロー	百万円	-85	-91	-159	-325	738	-336	-685	-311	-274	-274	-120
フリー・キャッシュ・フロー	百万円	-462	-54	-135	27	1,495	193	-135	27	910	571	535
財務活動によるキャッシュ・フロー	百万円	551	-90	212	-92	-794	-338	705	423	-294	-744	-470
現金及び現金同等物の期末残高	百万円	996	902	1,045	995	1,696	1,559	2,135	2,587	3,214	3,074	3,169
資産の状況												
総資産	百万円	5,613	5,291	5,773	5,706	5,327	5,788	5,462	7,163	7,548	8,595	8,472
純資産	百万円	1,906	1,423	1,402	1,555	1,888	2,397	2,087	2,340	2,820	3,728	4,136
有利子負債	百万円	1,676	1,684	1,833	1,716	1,020	720	1,506	1,915	1,722	1,218	991
設備投資・減価償却の状況												
設備投資額	百万円	416	105	143	291	236	256	28	164	48	141	124
減価償却費	百万円	112	170	149	127	141	161	143	106	94	85	92

(注) 収益認識会計基準等を2022年6月期の期首より適用しております。

11年間の連結業績ハイライト

	単位	2014/6	2015/6	2016/6	2017/6	2018/6	2019/6	2020/6	2021/6	2022/6	2023/6	2024/6
株式の状況												
発行済株式総数	株	3,542,400	3,611,200	3,697,600	7,417,200	7,434,400	7,569,800	15,191,600	15,191,600	15,191,600	15,191,600	15,197,600
1株当たり配当金	円	20	10	30	10	10	10	2	6	12	15	20
配当性向	%	-	-	-	24.1%	19.4%	15.2%	-	30.3%	31.1%	25.3%	37.5%
1株当たりの状況												
							*	*				
1株当たりの当期純利益額	円	-2.18	-93.76	-60.43	41.57	25.85	33.42	-13.97	19.83	38.58	59.28	53.30
1株当たりの純資産額	円	501.30	371.66	343.55	198.20	120.72	153.13	135.17	151.30	178.92	238.78	266.20
経営指標												
営業利益率	%	0.4%	-0.7%	3.3%	2.8%	2.6%	4.2%	3.0%	3.4%	4.7%	6.8%	8.2%
ROE	%	-	-	-	22.4%	23.5%	24.2%	-	13.8%	23.4%	28.3%	21.1%
ROA	%	3.0%	1.5%	4.3%	8.6%	6.6%	12.9%	4.9%	10.6%	17.5%	16.5%	17.6%
自己資本比率	%	31.6%	25.1%	21.8%	25.5%	33.4%	39.7%	37.3%	31.8%	35.7%	41.4%	46.9%
D/Eレシオ	倍	0.9	1.3	1.5	1.2	0.6	0.3	0.7	0.8	0.6	0.3	0.2
従業員の状況												
従業員数	人	186	196	260	273	358	382	354	334	376	347	360

- (注) 1. 収益認識会計基準等を2022年6月期の期首より適用しております。
2. 2017年5月30日付で普通株式1株につき2株の割当てで株式分割を行っております。
3. 2019年7月11日付で普通株式1株につき2株の割当てで株式分割を行い、1株当たりの状況(*)は有価証券報告書に基づきます。

11年間のセグメント別業績

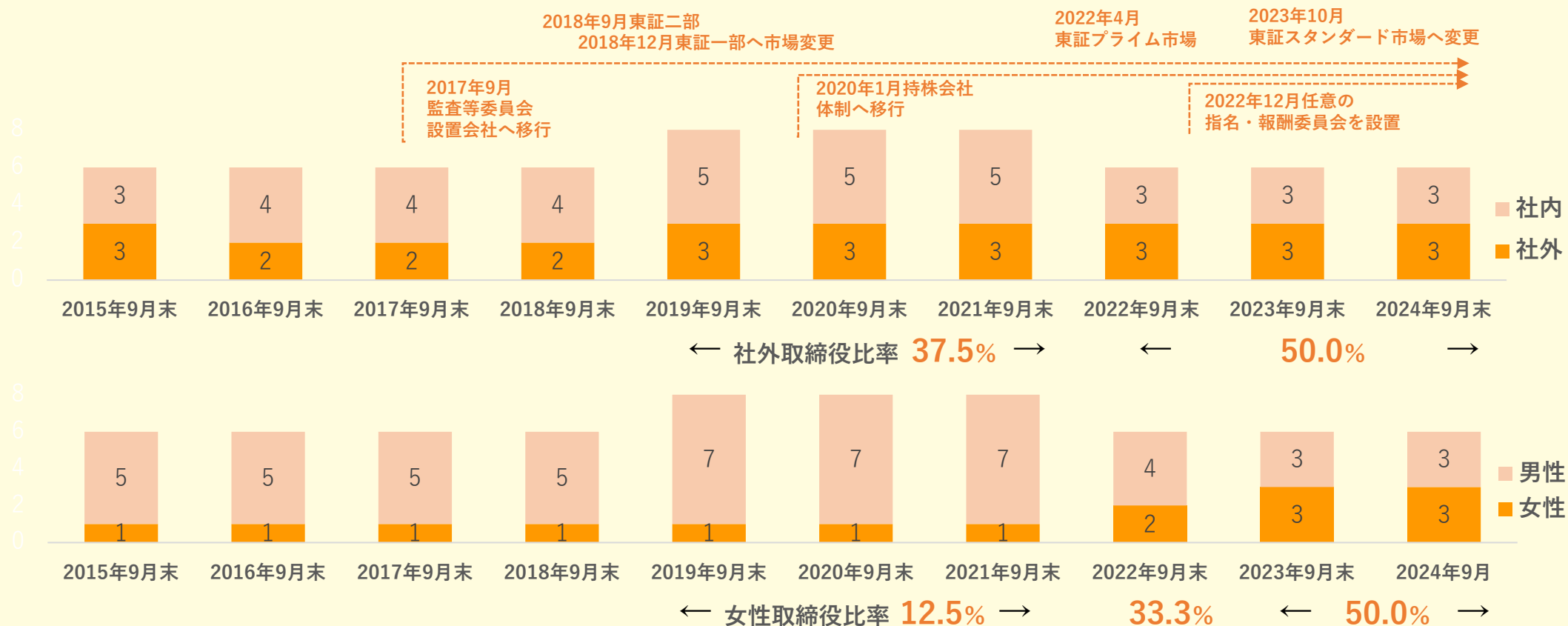
	単位	2014/6	2015/6	2016/6	2017/6	2018/6	2019/6	2020/6	2021/6	2022/6	2023/6	2024/6		
売上高		2020/6までの報告セグメント							過年度遡及	2023/6までの報告セグメント			3事業体制	
コミュニケーション事業①	百万円	5,081	5,789	5,429	5,715	6,194	7,434	8,158	5,818	9,119	7,744	8,207	14,447	ブランドコミュニケーション事業 ①マーケティング& コミュニケーション(PR)
スポーツ事業②	百万円	923	804	1,068	1,302	1,278	1,366	1,080						
SP・MD事業③	百万円	3,930	2,313	3,531	2,588	1,451	1,234	1,389	4,984	3,644	5,489	7,178		②セールス アクティベーション
bills事業	百万円	2,385	2,930	3,120	4,100	4,421	4,241	3,259	3,259	2,355	2,359	2,901	3,268	フードブランディング事業
開発事業	百万円	121	102	244	184	191	351	205	31	236	596	669	192	ビジネス ディベロップメント事業
計	百万円	12,443	11,940	13,393	13,891	13,537	14,627	14,094	14,094	15,356	16,190	18,956	17,908	計
【合計】①+②+③	百万円	9,935	8,907	10,029	9,606	8,924	10,035	10,629	10,803	12,764	13,234	15,385	14,447	【合計】①+②
セグメント利益		2020/6までの報告セグメント							過年度遡及	2023/6までの報告セグメント			3事業体制	
コミュニケーション事業①	百万円	550	694	666	595	715	996	1,162					2,532	ブランドコミュニケーション事業 ①マーケティング& コミュニケーション(PR)
スポーツ事業②	百万円	76	73	140	172	178	237	288	968	1,284	1,954	1,917		
SP・MD事業③	百万円	-111	-110	294	34	-150	2	2	514	310	344	380		②セールス アクティベーション
bills事業	百万円	-102	-155	28	126	166	66	-210	-210	-293	-366	76	116	フードブランディング事業
開発事業	百万円	136	-72	-71	-25	40	59	-4	-40	110	-82	88	26	ビジネス ディベロップメント事業
調整額	百万円	-499	-516	-611	-515	-594	-753	-817	-810	-892	-1,082	-1,166	-1,209	調整額
計	百万円	51	-88	447	387	355	610	420	420	519	767	1,296	1,465	計
【合計】①+②+③	百万円	516	656	1,101	802	743	1,237	1,452	1,482	1,595	2,299	2,297	2,532	【合計】①+②

(注) 収益認識会計基準等を2022年6月期の期首より適用しております。

コーポレート・ガバナンス

- ガバナンス強化に向けて、独立社外取締役の比率を高めるとともに、任意の指名・報酬委員会を設置
- 多様性の確保にも取り組み、女性取締役比率は50%に上昇

取締役会の機能発揮と多様性の確保（構成人数 上段：社外・社内、下段：女性・男性）



CHANGE THE WORLD.

たのしいさわぎで、世界を変える。

- ・本資料は当社をご理解いただくために作成されたもので、当社への投資勧誘を目的としておりません。
- ・本資料を作成するに当たっては正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保証するものではありません。
- ・本資料中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。
- ・本資料中の予想・予測などは、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、実際の業績は、事業環境の変化等の様々な要因により、記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となることがあります。

< 本件に関するお問い合わせ >

株式会社サニーサイドアップグループ 経営管理部経営管理グループ

TEL : 03-6894-2241 mail : keiki@ssu.co.jp